

第9回「原発事故被災地域における放射線量マッピングシステムの技術開発・運用とデータ解析に関する研究会」と第460回生存圏研究所シンポジウム「第11回東日本大震災以降の福島県の現状及び支援の取り組みについて」プログラム

2021年12月21日～12月22日 於 京都リサーチパーク（1号館 G会議室）、Zoom

## 2021年12月21日

13:00	開会挨拶 上田義勝（京都大学生存圏研究所）  （農地における汚染対策の話題・放射線計測技術の話題） 座長：上田義勝
13:05	齋藤隆、根本知明（福島県農業総合センター） 除染後農地における放射性セシウムの実態と KURAMA を活用した研究の取り組み
13:30	信濃卓郎（北海道大学大学院） 野菜の移行係数を再考する
13:55	鳥居建男（福島大学環境放射能研究所） 福島第一原発事故後に行われた遠隔放射線計測及びマッピング技術
14:20	休憩  （放射線計測技術の話題） 座長：齋藤公明
14:35	谷垣実（京都大学複合原子力科学研究所） KURAMA-II の開発と展開の現状
15:00	後藤淳（新潟大学研究推進機構） 自動車走行サーベイで測定した線量率の経時変化に関する検討
15:25	小泉光生（JAEA） 核セキュリティのための放射線量マッピング技術開発
15:50	休憩

	(放射線計測技術の話題) 座長：後藤淳
16:05	奥田美弘 (高知工科大学) CsI 検出器を用いた水田土壤中の放射性セシウム分布の推定技術；現状報告
16:30	津田修一 (JAEA) 環境中のγ線線量率モニタリングに適した測定器に関する考察
16:55	諸井眞太郎 (凸版印刷株式会社) マルチホップ型 IoT 無線通信"ZETA"を活用した環境センシング

# 2021年12月22日

	(環境放射線・被曝評価の話題) 座長：藤村恵人
9:30	山口一郎 (国立保健医療科学院) バックグラウンドとなる自然放射線量の測定において人体が及ぼす影響 -追加線量評価の質の確保のために-
9:55	佐藤里奈 (JAEA) 空間線量率測定に基づく被ばく評価
10:20	大手信人 (京都大学) 森林から生活圏に移動・沈着する放射性物質の把握とその影響の多面的評価
10:45	休憩
	(環境放射線・被曝評価の話題) 座長：百田佐多生
11:00	熊澤蕃(元 JAERI/JAEA 前身)、豊田亘博(豊田放射線研)、加藤和明(先端課題研) 1FNPP 事故後空間線量率の長期予測 HS モデル検証と地理的変動の 新確率分布モデル提案
11:25	水野義之 (関西外国語大学、東日本大震災・原子力災害伝承館、京都女子大学名誉教授) 原発事故後の「トリチウム水」の処理方法に関する新提案について
11:50	高橋正二 (ふくしま再生の会) 飯舘村における牧場の kurama-II 測定 - 3、および里山再生活動
12:15	休憩
	(環境動態・植物移行の話題) 座長：信濃卓郎
13:45.	藤村恵人 (農研機構東北農業研究センター) 福島県で栽培した玄米およびダイズ子実中放射性セシウム濃度
14:10	久保堅司 (農研機構東北農業研究センター) ラッカセイへの放射性セシウム蓄積特性 -ダイズとの比較-
14:35	二瓶直登 (福島大学) ダイズのセシウム吸収に関するカリウム以外の要因の検討-
15:00	丸山隼人 (北海道大学大学院) マメ科植物ルーピンの高い放射性セシウム吸収メカニズム

15:25	休憩
	(環境動態・植物移行の話題) 座長：谷垣実
15:40	申文浩 (福島大学) 営農再開地域における水管理システムの現状と課題
16:05	上田義勝 (京都大学生存圏研究所) KURAMA-II の歩行試験による較正と地表面汚染密度の評価
	(福島に関連した話題) 座長：谷垣実
16:30	水野義之 (関西外国語大学、東日本大震災・原子力災害伝承館、京都女子大学名誉教授) 地域・地区防災計画と原子力災害・防災訓練の現状と課題～「東日本大震災・原子力災害伝承館」：教訓と知恵の連携に向けて～
16:55	閉会挨拶 谷垣実 (京都大学複合原子力科学研究所)